

チームけせんの和 だより

発行:陸前高田の在宅療養を支える会(チームけせんの和)

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字太田512-2(岩手県立高田病院内)

2026年
VOL.46
8月号

「チームけせんの和」に寄せて 社会福祉法人恩賜財団済生会陸前高田診療所 所長 杉山 照幸



平成27年10月1日の開設より10年余にわたり診療所長を務めてきた伊東統一前所長の後任として、令和8年4月1日付で診療所長に就任いたしました杉山照幸と申します。済生会陸前高田診療所は陸前高田市気仙町から地域包括ケアシステムのモデルとなるコミュニティの創造を目標にしてきました。

近年、在宅医療を取り巻く環境は大きく変化しています。独居の高齢者世帯に加え、高齢夫婦のみの世帯や、親だけでなく介護を担うお子さんも高齢となっている二人世帯が増加しています。また、近所付き合いや地域のつながりが希薄になるなか、家族による「自助」や隣近所などによる「互助」に支えられてきた介護力も低下しているように感じます。

私の前の職場でも、訪問診療を受ける患者さんは徐々に減少していましたが、新たに着任した当診療所においても、数年前には10数人あった訪問診療の患者さんが、今年度初めには2人にまで減少していました。この数字からも、在宅療養を選択し継続することが難しくなっている現状を実感しています。在宅で療養している方が、いったん入院を必要とするような病状になると、ご本人やご家族が退院後の生活に不安を抱き、自宅に戻ることが困難となって、老人ホームや介護施設への入所を希望されるケースも増えています。このような状況のなかで、誰もが最期まで自宅で安心して過ごせる地域を目指すことは、決して容易ではありません。しかし、困難だからこそ、医療・介護・福祉に携わる多職種が単に情報を共有して連携するだけでなく、患者さんにご家族の思いや目標を共有し、それぞれの専門性を生かしながら、ともに考え、ともに支える「多職種協働」の体制へと発展していく必要があると考えております。



医師や看護師、歯科医師、薬剤師、リハビリ職、介護支援専門員、介護職、行政、そして地域の皆さまが職種や組織の垣根を越えて力を合わせることで、一人でも多くの方の「住み慣れた自宅で最期まで過ごしたい」という願いを支えていきたいと思っています。これまで築かれた信頼とつながりを大切に受け継ぎ、皆さまから学びながら、地域の在宅医療の充実に取り組んでまいりたいと思います。今後とも、ご指導、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



「チームけせんの和」 総会報告

令和8年5月19日（火）市役所5階会議室において役員会開催。今年度の運営について協議・確認。

令和8年5月25日（月）陸前高田コミュニティホールにおいて総会開催。（参加人数60名）

議事では、令和7年度事業報告及び収支決算、令和8年度事業計画・収支予算について協議し、原案通り承認されました。昨年度、研修会は3回開催され、それぞれ75人、60人、69人とたくさんの会員様のご参加を頂き、本当にありがとうございました。

令和7年度の新規加入事業所は、訪問看護ステーションさくら1事業所でした。

今年度の事業計画

- 1、研修会：年3回（5月、10月、1月）
- 2、ワーキンググループ活動の継続
 - ①ACPの普及 市民向け教室等により普及啓発を図る。
 - ②市民向けガイドブック「よりよい在宅療養のために」の更新作業。
- 3、市民啓発活動
 - ①劇団ばばば☆活動
 - ・DVD第1～4作の周知活動
 - ・市民その他の要望に応じてDVD上映及び公演活動
- 4、広報活動:会報発行「チームけせんの和だより」年3回（8月、12月、3月）
- 5、
 - ・交流会開催
 - ・会員からの情報提供による各種研修会の案内

その後役員改選も行われ、事務局案で承認されました。新規役員に、藤代美智子氏（県立高田病院看護科）西野強氏（県立高田病院事務局）が承認されました。任期は令和9年3月31日までとなります。（役員名簿は右記に掲載）



令和8年度役員紹介

役員名	氏 名	区 分
会 長	岩井 直路	国保二又診療所
副 会 長	吉田 裕	歯科医師会
	菅原 由紀枝	栄養士会
役 員	鵜浦 章	医師会
	大坂 敏夫	薬剤師会
	阿部 啓二	県立高田病院
	藤代 美智子	県立高田病院看護科
	佐藤 寿裕	訪問看護ステーション
	下川原 祐子	デイサービス
	千葉 祐志	介護支援専門員連絡協議会
	佐々木 裕紀重	歯科衛生士会
	草別 拓郎	訪問看護ステーション
	佐々木 厳	相談支援専門員
監 事	入澤 美紀子	介護老人保健施設
	柴田 夕子	介護支援専門員連絡協議会
顧 問	石木 幹人	
	大和田 剛史	広田歯科医院
事 務 局	県立高田病院事務局	



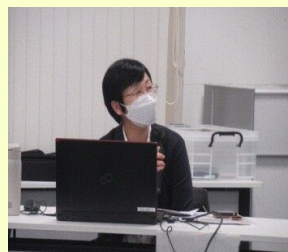
チームけせんの和」第1回 研修会 報告

テーマ 「医療と介護の連携による栄養と食事の管理の実際」

日 時：令和8年5月25日（月）

場 所：陸前高田市コミュニティホール 参加人数：60名

講 師：高寿園給食サービス部部长 管理栄養士 菅原 由紀枝 氏



今年度第1回目の研修会は「医療と介護の連携による栄養と食事の管理の実際」について菅原由紀枝さんからご講演をいただきました。菅原さんが勤務されている高寿園では、医療と介護の連携による食事管理や地元食材を積極的に活用する取り組みが高く評価され、昨年度、栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を受けられました。

講演では、より良い食事の提供のために施設内連絡会議ほか5部門間で連携を取り合っていること、医療と介護面においては医療・歯科・介護の3分野から管理を行っているというお話がありました。また、栄養管理面では個々の身体や栄養状態をきめ細かく把握しながら地産地消の推進や伝承郷土料理を取り入れるなどの特色ある取り組みが紹介されました。その中の1つ、管理栄養士さんのラーメン屋さんの紹介の中で「ラーメンを食べるとみんな笑顔になって元気になる」というお話がありました。食べることは身体だけでなく心の栄養にもなることを改めて感じました。災害時の備えや受け入れの実際についてもお聞きすることができ、大変学ぶことの多い研修会となりました。

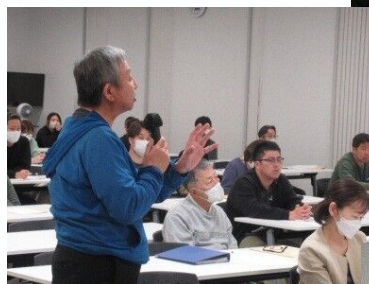
研修会参加者からの声（アンケートより）

・食は命の源なので、たくさんの利用者様への食事への工夫がすばらしいと思いました。物価高の中の工夫・災害時への備えなど色々な取り組みをしていることを知ることができました。ありがとうございました。

・世の中の変化に対応しながら、工夫と努力と協力で乗り越えていく姿、「食」に対しての情熱も改めて感じることができました。

・チームワークが素晴らしいです。この食事を食べることができる利用者さんは幸せだなと感じました。

・人が生きるために食べることはとても大事であり、食に関して様々なことがわかりました。クックチル、防災食、課題はあるけれど解決に取り組むことはほかの事業所でも同じことだと実感した。



4月から吉田歯科医院に勤務されている歯科医師林雄太郎さんのご紹介もありました。



★活動報告「劇団ばばば☆」公演★

公演テーマ：「転倒知らずは寝たきり知らず！」

①依頼先：いきいきライフ(高田西地区)

日時：令和8年7月17日（金）場所：陸前高田市コミュニティホール

参加人数：37名

②依頼先：いきいきライフ(横田地区)

日時：令和8年7月28日（火） 場所：横田町コミュニティセンター

参加人数：13名



社会福祉協議会主催の「いきいきライフ」にて、今年度2回のばば☆公演をしました。両日ともおおよそ同じような内容で行われ、アドリブも交えながら、笑いあふれる公演となりました。転倒予防の大切さを分かりやすく伝えるため、劇の途中では作業療法士の一本木さんより、自宅で気軽に取り組める転倒予防体操を紹介し、参加者の皆さんも一緒に体を動かしながら楽しく体験しました。劇の終了後には、「転倒予防に関係する薬のアレコレ」と題して薬剤師が作成した資料をもとに、薬の作用や副作用、転倒との関係について説明しました。

参加者は熱心に耳を傾け、転倒予防に対する知識を深める機会となりました。



新人コーディネーターの紹介

氏名 伊藤 公子

① 出身地：陸前高田市

② 趣味：野球観戦（楽天イーグルス）
ご朱印集め

③ 好きな食べ物：海鮮丼
嫌いな食べ物：卵

④ よく聴く音楽：Mrs.GREEN APPLE
川崎鷹也

⑤ ひと言：5月からコーディネーターをしています。地域の皆さまとの出会いを大切に、一人ひとりに寄り添った支援を心掛け、気軽に相談していただける相談員を目指し努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

氏名 加茂 博美

① 出身地：陸前高田市

② 休日の過ごし方：配信ドラマの視聴
自宅でのんびり過ごす

③ 好きな食べ物：餃子
嫌いな食べ物：マリネ

④ 好きなアーティスト：サザンオールスターズ
⑤ ひと言：7月からコーディネーターとして

チームけせんの和にお世話になっております。
2年前まで、看護師として県立病院でずっと働いておりました。これまでの経験が少しでも活かさればと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

編集後記

令和8年度第1号(No.46)の会報をお届けします。このところ各地で相次ぐ地震の被害。1日も早い復興を願わずにいられません。会員の皆さまもこの夏をお元気に過ごされますようお願いいたします。

